東由利村報

No. 174　　1972・1・1

発行　秋田県東由利村役場　印刷　KK本間印刷所

毎月1日発行（1部8円）昭和42年7月21日第三種郵便物認可

出かせぎの方に〝たばこ〟を送ろう。送料は役場が負担します。たばこ店で聞いてください。

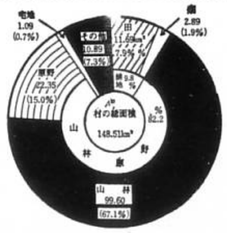
世帯と人口

世帯数	1,569世帯
人口	7,122人
男	3,493人
女	3,629人

前月に比し世帯は1の減
人口は26の減

財政

一般会計	457,470千円
特別会計	117,325千円
内訳 国保	93,370千円
内訳 黒診	927千円
内訳 簡水	12,615千円
内訳 玉財	10,413千円



行財政に試練

…東由利村長　小松栄男…

しかし将来に希望を

小松村長

新春にあたり、所感を申し述べて、年頭のごあいさつといたします。

昨年は、減反政策の第二年目に加えて、天候不順による予想以外の減産となり本村では、前年比農家一戸あたり二〇万円に近い減収となっております。ひとり農家のみでなく、一般経済に大きな影響を与えております。

国においては、沖縄、ドル、中国等の問題にゆれ動いた一年でありました。

七十年代は変動の時代といわれていましたが、第一年目で、まさしくその実感を深くさせられたわけであります。

◇　◇

本年は、市町村の行財政に、これらの影響が出てくると思います。さしあたって、村としての一番大きな歳入である地方交付税が、これまでは、毎年一五～二〇%伸びてきたのが、四十七年度では、ほとんど伸びを期待できません。にもかかわらず、行政水準のアップの要請と、各部門の自然増が出てきますので、これに対する政府の対策が打ち出されることを要望しながらも、自治体には試練の年となります。

◇　◇

困難な事情下にあっても行政には停滞が許されません。本年実施を考えている事業を申し上げますと。

1、ぼつぼつき水道は、三年間の継続事業であるが、早期完成。

2、主要地方道に昇格した、蔵―大曲線の改良事業に公共予算の獲得。

3、広域消防体制の実現

4、社会教育施設の構想の確立。

5、過疎地域対策としての県代行路線、台山線の着工。

6、ごみ処理の解決。

7、村道の骨幹路線の改良。

8、各土地改良事業の実施と県営圃場整備のための測量。その他であります。

◇　◇

昭和四十七年度において私は「信頼される村政」を念願に、東由利村の行財政の推進に努力して行きます。物ごとには成否巧拙がありますが、真剣に努力することによって前途は自ら開けるものと信じております。ややもすれば行政はマンネリ化になりますので、どうか遠慮のない批判と指導をお願いしたいと思います。

ことしの天候はどうか、国の農業政策はどうか、心配することがたくさんありますが、年頭にはお互い広い気持で、新年の屠蘇を汲み交し、将来に希望をもって進もうではありませんか

昭和四十七年の皆さまの慶祥を祈念して年頭のごあいさつとします。

高速交通の要路に

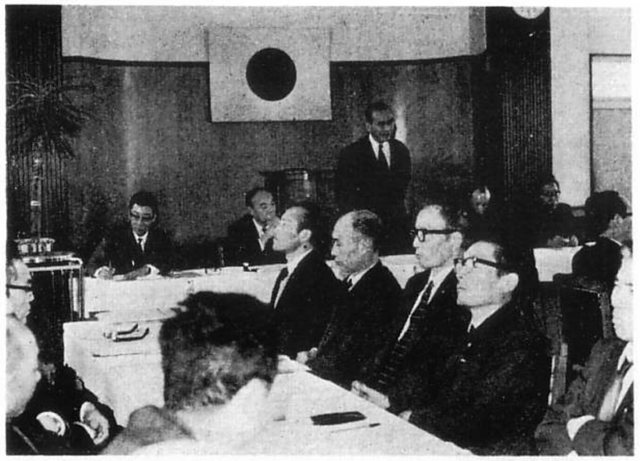
国道一〇七号

物言橋―大比戸橋 区間拡幅めざす

議員懇談で一致

東由利村
本荘市

本荘市議会議員と本村議会議員の恒例の懇談会は、十二月一日、本村役場で開かれた。これには本荘市の議員三〇人、本村議員一八人。来賓として佐藤本荘市長、小松村長、村岡県議、両市村の事務執行部局からは助役以下主務課長らが出席した。話合いでは国道一〇七号線、山内の未舗装区間の改修に続き、物言橋―大比戸橋間の拡幅工事を働きかけるなどを決めた。


本荘市議会と本村議会の懇談会

開会冒頭の高野本荘市議長とそれぞれあいさつ。ついで長沢本村議長が「両市村の発展につながる懇談を」祝辞では、佐藤本荘市長が「国道一〇七号線の改良に全力をつくしてきたが、さらに東北新幹線の停車駅であり、北上市と本荘市を結ぶ重要幹線という認識で最善をつくす。」とあいさつ。高速交通という時代の動きは国道七号線に、新たな使命を与えると期待された。

また小松本村村長は「鳥海山の眺望に絶好の茶屋長根を経由する、由利郡の環状路線が地方主要道に昇格。また由利町との林道金山線を、県道に昇格運動を推進して、かつてのがけくずれのような不測の事態には、ひかえの幹線道路としての働きができるように。」とあいさつ。

このあと村岡県議は「新潟までの上越新幹線をさらに秋田、大館へと延長させる運動のほか、冬の除雪、過疎対策を進めたい。」と述べた。

河川美化も話題に

懇談は、土木・教育・産業・財政など行政一般にわたった。まず土木行政では、広域圏道路。県工事の早期発注方を要望。複線電化と本荘駅舎などで意見交換。とくに国道一〇七号線、物言橋と大比戸橋間の道路の幅員を拡張したいとして、四日に来村が予定されていた、根本代議士あて連名の陳情をすることに満場一致で決めた。

福祉行政では広域圏計画の老人福祉施設。出かせぎ対策産業では減反、集団転作の状況。高瀬川、石沢川、子吉川の水質保全による魚族保護と環境の美化。教育では、東由利中学校寄宿舎の運営や遠距離通学補助。本村から市内に学ぶ高校生を励ます集いの計画など、懇談は一時からはじまり、三〇分間の昼食時間も惜しむほどの活発さで、一時三〇分まで続けられた。

歯をみがくのも低学年の大事な日課

健康はいいことだ

玉米小学校　準優良校に

本村玉米小学校は四十五年来、県から学校保健推進校に指定されていたが、このほど学校、PTAあげての活動が認められ、県教育委員会・県学校保健会から〝学校保健準優良校〟の折紙がつけられた。

玉米小学校では、学校保健推進校の指定にともない〝身のまわりを清潔にしよう〟を重点目標に定め、さらに月ごとの月間目標を定めて、虫歯や病気を進んで直すこと、姿勢を正しくする努力をつみ重ねてきた。

児童のやる気が清潔カードに響く

児童の自主的な活動に清潔カードがある。毎月、強調週間を決めて①ゆうべ歯をみがいたか②ゆうべふろにはいったか、また寝る前に足をあらったか③けさ顔をあらったかをチェックし、④ちり紙をもっているか⑤ハンカチをもっているか⑥身なりをきちんとしているか⑦頭のかみは⑧つめは…など。また、からだをふいたか、下着をとりかえたか、のように、心がけ項目を季節に応じて変えて、おたがいに審査しあっている。

その結果、児童の調べ合う基準が、たとえば、ゆうべふろにはいった、そうはいっても、首にアカがついていればだめ、とか、ハンカチを持っていると答えても、よごれていてはだめ、というように質的な高まりが見られるようになった。

地域の啓発に一役

虫歯の治療には、校医の内山先生の指導があり、集落ごとの診療日割をきめて、全校一七七人全員がひととおりの受診を終えている。

よい姿勢を指導するためには、まず効を急いで強制しないよう気をつけたという。学年段階に応じてねばり強く、立ち姿勢・書き姿勢・話をきく姿勢・歩行姿勢を具体的に知らせている。

このような学校・家庭での活動の集積を、こんどは健康連絡カードにして、学校と家庭間を往来させている。そして一人一人の児童の健康状態を、愛情深く連絡しあっている。

学校保健活動の充実は、ひとり学校だけに期待されるものではなく、地域の理解の度合いに左右されるものであろう。しかしその効果は、地域の個々の家庭の健康をも増進させずにはおかない。

生活の健全化運動を広めよう

昨年の稲作は天候の不順でこれまでになかった減収、農家の米代金は大幅に減少しました。

そこで生活の中に、みえ・むり・むだがないか、いま一度点検して、生活を健全にする運動を展開しよう。

▽米代金、農外収入は、ひとまず貯金し、生活の計画をたてよう。

▽計画的な家計のため、月給貯金と家計簿記帳を続けよう

▽冠婚葬祭、各種行事の簡素化につとめ、経費の節約につとめよう。

▽営農や家事の共同化を進めお金を能率的に使おう。

写真、休けい時間に電話のまわりは押すな押すな

老方小学校にタイムリーな贈りもの

このほど老方小学校に、ダイヤル式自動電話二台が本荘電報電話局から贈られた。

これは同局が、学校教育の中で、正しい電話の知識と、かけ方、話し方を学んでもらおうとするもので、毎年、いくつかの学校をえらび行なっているものである。

同校では、日常語を正しい標準語で話そうという、教育目標をかかげている折であり、さっそく活用できると、タイムリーな贈りものに大喜び。

新年おめでとうございます

佐藤教育委員長

新年おめでとうございます。七二年の新春を迎えることになりましたが、国の内外情勢は、政治的にも経済的にも、きわめて激動的であり、種々の難問題が山積しており、これをいかに解決するかという、大課題の多い年になりそうでありましょう。教育についても、中教審の答申をうけて、これをいかに具体的に、計画し実施して行くかという、その方向づけをする、大事な年であろうかと思われます。

本村においては、昨年統合中学校の立派な校舎が完成し、寄宿舎も開設され、一村一校の中学校教育が、計画どおり実現され、まことに喜びにたえません。本年はさらに、校地その他の環境の整備充実に、一段と努力をいたし、名実ともに統合中学校としての、教育の殿堂として、ふさわしい勢のもとで、地方財政だけがよかろうはずはありません。税収の自然増や地方交付税の伸びに期待をかけてはならないと思います。

しかし、景気浮揚策としての公共事業は、地域住民のためにおろそかにはできません。本村としては、台山―跡見坂―玉米にいたる県が代行線、地方主要道になった法内線はぜひ、関係者の理解と支援をえて完成させたい。

住みよい村づくりの第一歩は道路の整備にあると考えております。地域、関係者の熱心な要望、子どもたちの通学の便利さを考えると、一日も早く完成させたいものである。

防ごう スリップ事故を

小学校の統合問題につきましては、中教審の答申をよく考究し、県の指導方針をふまえて、妥当な方向づけができるよう、研究してまいりたいと思います。皆さまのよいご意見を、お聞かせ願います。

水道工事ほか

長沢議員

新しい昭和四十七年がスタートしました。

過去三年間、統合中学校建設のためにつぎこんだ労苦は、台山に偉容を誇っている校舎をのぞむと、吹きとんでしまいます。懸案の水道工事は、目下工事中であり、ことしの秋ごろにはボツメキから、清れつな水が、村々の家庭の台所に、いきおいよく流れこむことでしょう。

◇新年のあいさつ◇

まず道路整備を

議会議長　長沢毅

世間は、あげてドルショックを訴え、農村は、減反・減収・出かせぎ会社の不況ムードと、まさにトリプルパンチを受けて、青菜に塩といった感じです。したがって当然、このような情勢のもとで、地方財政だけでそうであります。教育につきましても、中教審の答申をうけて、これをいかに具体的に、計画し実施して行くかという、その方向づけをする、大事な年であろうかと思われます。

本村においては、昨年統合中学校の立派な校舎が完成し、寄宿舎も開設され、一村一校の中学校教育が、計画どおり実現され、まことに喜びにたえません。本年はさらに、校地その他の環境の整備充実に、一段と努力をいたし、名実ともに統合中学校としての、教育の殿堂として、ふさわしい勢のもとで、地方財政だけでありましょう。

年頭にあたり

へき地教育の進展を

教育委員長　佐藤松之助

立派な教育実践が公開されそれぞれ多大の成果を挙げられました。児童生徒の学習態度も、一段と向上されている姿に接し、心から敬意を表しているところであります。本年度もさらに、教職員のご努力をお願いいたし、へき地教育の進展を期したいと思います。

小学校の統合問題につきましては、中教審の答申をよく考究し、県の指導方針をふまえて、妥当な方向づけができるよう、研究してまいりたいと思います。皆さまのよいご意見を、お聞かせ願います。

考えます。

児童生徒の教育につきましては、昨年度、法内小の文部省指定のへき地教育研究会、老方小の図書館経営研究会、宿小の学校経営研究会など、いろいろな教育大行事がもたれ、教職員の者の理解と支援をえて完成

東由利村報

昭和47年1月1日　第174号

協業化の出発点に

佐々木　宇一郎

合併による新生農協が誕生して初年度を経過しようとしている。集団で研究した生産物を農協の手で流通の途を開く、第一歩をふみ出せたのは、力の結集ができたからである。

四十七年はさらに、農業のあり方は現状でよいかが問われる年になろうが、村の山村振興計画の一環である育苗センターの建設を行なって、今後の農業が負う団地化、協業化の出発点にしたいと思う。村政と一体の連携で、将来に希望のもてる農業であり、農協であるようがんばりたい。

また環境衛生施設の問題、集落ごとの会館建設意欲とは別個に、公民館などの総合センターの必要度が増しているこれらと、真剣に取組むことを目標としたい。

村の発展のため

長谷山　喜市郎

昨年は中学校の完成にともない台山周辺は校舎の内外共に、教育の場にふさわしい素晴しい環境となりました。ことしも教育の重要性に鑑み、小学校の統合問題と、給食の問題や公民館の建設と社会教育。特に生涯教育、老人福祉の充実強化をはかりたい。土木行政では、舗装道路と接続する他の県村道の改良と維持管理に留意し、デコボコ道路解消と、冬期交通確保にグレーダー購入を実現したい。山内地内改良工事の完成により、経済効果も大きいと思います。

従来から計画されている県営圃場整備の調査、水道工事の完工と併せて、これら事業を推進することにより町制施行や観光協会の発足、高瀬川の魚族保護、UHFテレビ受像ができるようなど、村の発展に寄与したい。

農家所得を第一義

小松　豊

昨年は私にとって忘れられない三つの出来事がありました。一つは四月の農協合併であり二つには統合中学校の落成であり、三つめは減反政策と凶作でありましょう。前年に比べ二万俵の減収、すなわちこれは一億七千万円に相当、この減収は季節労務で働いてようやく補う程度となるでありましょう。私たちは今さらながら基幹産業としての稲作をいかに大切な農業であるかを再認識しなければならないのです。私は新年にあたり、まず沈滞ムードを村政と農協が一体となって、さらに苦しくなるであろう農家のために、新しい東由利村としての農業を考え、卒先これに取組み、農家の所得増加を第一義に考え、そのことを中心として子弟の教育に意を注ぎ、今日よりも明日、ことしよりも来年と、文化的生活をさらに求めて、楽しく働き、明るく暮すことを皆さんと共にねがうものです。折にふれ皆さんのご意見もお聞きしたいと存じておりますので、よろしくご協力をねがう次第であります。

辺地の基盤整備に

遠藤　兵一

激動の七〇年代といわれて二年目。生産調整に追打ちをかけるような冷害。それにも負けない自立への意欲が感じられるのは力強いかぎりであります。構造改善事業の推進、とくに村の三分の一をしめている、辺地の小規模団地の基盤整備の促進をはかり、生産性の向上に努めたいと思います。

未改修県道および村道、農道の整備促進も絶対条件であります。また小学校の統合問題も、その対策を真剣に考えるべき時期だろうと思われます。教育は均等でなければなりません。統合の実現には世論の盛上りこそ唯一の決め手であります。ことしも健康で大いにがんばりたいと思います。

村民優先を明確に

嶽石　伊佐武郎

明けましておめでとうございます。村民各位のご多幸お祈りします。昨年は減反と冷害による減産、村民所得の減少と苦しい現状にあります。この不況をいかに乗りきるかは、それぞれの自主性に待つしかないが、村としても大きな課題であろう。中学校統合も出来、水道にもメドがついても解決すべき事業が山積しています。広域行政による常備消防分署の設置、環境衛生のためのゴミ処理施設、社会福祉の充実に老人いこいの家、総合的見地に立つ公民館の建設また圃場整備を促進させ、省力により地域産業振興が目下の急務であります。村民生活優先の立場を、名実ともに確立するよう努力したい。よろしくご協力お願いします。

じっくり考えたい県営のほ場整備

加藤　清

村の計画事業も着々と進んでおります。昨年は中学校落成、ことしは水道完成の見通し、これも関係皆さまの理解があってこそと深く感謝しております。さていよいよ山村振興センター、小学校問題、県営圃場整備、道路整備など諸事業が目前ですが、なかでも三百㌶の圃場整備事業です。当初四十八年度に着工見とおしが、村長の話では四十九年度とのこと。四十九年度には減反奨励金はありません。出かせぎや日雇で一家の暮らしができるでしょうか。私も関係者の一人として頭の痛いところです。この事業を推進するには幾多の難問が予想されます。まだ先がありますので関係者の理解と努力、また減反奨励金に変わる〝何か〟が必要ではないでしょうか。皆さまと共に考えて行きたいものです。

奉仕の念を新たに

長谷山　千代蔵

年があらたまりましたが社会の諸情勢は、なお深刻な様相を呈すると予測されます。まず村民一同が健康で明るい年でありますよう祈念したい。村の行政も軌道をたどり漸次進展し、村民一体の実績をあげております。そこで以後の課題は、小学校の統合、山村開発センター、農地の基盤整備土木事業などでありますが、財源に乏しい村が、いかに資金の導入をはかるか、村当局の努力を期待したい。議会としては、村の将来を想い互いが理解を深めて、奉仕の念をあらためたいと思います。農業経営は行きづまりに直面したが、山村将来のために、昨年の奉仕合をみた、農業協同組合が、合併の意義ある年であったと思います。

旧校舎を山菜の貯蔵加工所にしたい

小松　与惣雄

明けましておめでとうございます。米の生産調整が行なわれて二年目、しかも昨年は産米において二十九年以来の不作となり、そのショックは実に大きいものであります。昨年は生産調整による所得の減少カンランなどが取り入れられましたが、あまりよい結果は得られなかった。そこで本年は、本村の産物である山菜は種類、量とも膨大なものであり、旧校舎を活用して貯蔵加工、計画的に出荷したならばかなり有利に販売できよう。いわゆる村の天然産物によって所得の向上をはかりたい。

村の中核となる青少年対策としては、サークルを積極的に助成、育成して行きたい。その場としての公民館の早期建設に努めたいと考えます。

よろしくご協力お願いします。

村を清潔に健康に

田代　寿治

村民の皆さま、心から新年をお祝い申上げます。皆さまと共にどうしたら、もっとよい村にできるだろうかと考えてきました。まず村を清潔にしなければなりません。はじめは途方もない話だといわれた水道も、皆さまがんばったおかげで本とうのことになりました。日常のゴミはだんだん増えてきました。これを原始生活のように、川にだけ捨てる能を繰返していたら、川はゴミでいっぱい、やがて魚もいない川、川は死んでしまいます。どうかして健康な村に、山も野もきれいだという便利で味わいのある村にしたいと考えます。いっそうがんばります。ことしも同よう、よろしくご指導ください。出かせぎの留守家族の皆さまご苦労さまです。

対策は先手先手

小野　昭一

新しい年の課題、それは末来への挑戦である。昨年は減反・不作・ドルショックによる不況と物価高、それをまともに被ったのは農村であり農家である。千二百人をこえる出かせぎ収入も、過去のようには考えられない。農政は暗中模索、今こそ村民は一致団結、全智全能をつくして自らのいきる道を確立しなければならない。経済大国日本は、動きのにぶい肥満児に過ぎなかったのではないか。社会情勢は加速度的に激しく変化しつつある。すべて先手先手の対策がなければ、とり残されてしまうであろう。山村振興、過疎地振興、広域圏事業など諸計画のスケジュールも、もっと早めなければならない。ことしこそ良い年であるよう、村民のための村政に全力をつくしたいと思う。

四十七年のわが村

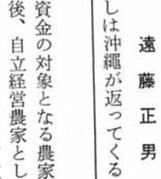
川尻　幾郎

昨年は減反プラス冷害のため、〝繁栄の七〇年代〟なるほど、これまでとは比較にならない大きなうたい文句である。大きな胎児であるだけに、大きな苦痛がともなうのによそごと、であってはたまらない。わが国土、わが郷土に満ちることを、だれしも願わない人がいようか。そのためには、ひとつひとつ苦しみを克服して行かなければならないし手だてがなければならない。毎年、新年にちなみ、議員の方々に、それぞれが描く青写真の一端を語ってもらうことにしている。それが、郷土の発展につながるようにねがって、てほしいと切望します。

昭和四十七年　わたしの力点

施策に永続性を

小野　作右工門

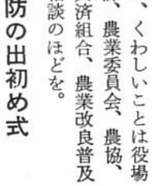


新年おめでとうございます。昨年は農業に対する減反、冷害に加えてドルショックと、農家経済はますます苦しく、農業経営はもちろん農政問題が山積した年でありました。

米作中心のわが村では、山振事業はじめ諸計画、事業ならびに今年度から、農業振興地域整備事業の計画もされておりますが、これら各種の事業を基礎として四十七年は、稲作以外のしかも村独自の畜産、酪農についての対策、それも主要生産地となるための指導力増強、調査計画、予算措置など、総合的長期的に進めたいものです。なお、社会教育の充実と促進のため、公民館を主体とした総合センター計画の実現が急務かと思われます。皆さまのご協力お願い申上げます。

気概新たに農業を

高橋　俊一



昨年来ドルショックという言葉が書きたてられ、浮足だっている気配があります。しかし、近年にない不作にあった私たち農家は、例年の豊作が平年作化し、それについで消費生活も増大していただけに打撃が大きかった。稲作だけの減収が一億数千万円という現況をどうして補うか、これまでのように単に出かせぎに頼れない世相である。幸いわが村では、第一次農業構造改善事業以来、数種の恵まれた国の制度のもとに村政が施行されてきたわけであるが、このような時にこそ、農家本来の姿に立ちかえり、その成果を発揮して、逆境を乗り越えるべきである。たとえば外材に押された林業のあり方、肉牛、乳牛を主とした畜産事業や曲り角や壁につきあたった養蚕事業など、振興させないでいるものかという気持でいっぱいである。

農家の姿にかえって逆境乗りきよう

梅津　二三雄

昨年は米生産調整の減反に加えて、近年にない不作にあった私たち農家は、例年の豊作が平年作化し、それについで消費生活も増大していただけに打撃が大きかった。稲作だけの減収が一億数千万円という現況をどうして補うか、これまでのように単に出かせぎに頼れない世相である。幸いわが村では、第一次農業構造改善事業以来、数種の恵まれた国の制度のもとに村政が施行されてきたわけであるが、このような時にこそ、農家本来の姿に立ちかえり、その成果を発揮して、逆境を乗り越えるべきである。たとえば外材に押された林業のあり方、肉牛、乳牛を主とした畜産事業や曲り角や壁につきあたった養蚕事業など、振興させないでいるものかという気持でいっぱいである。

無から有へ努力

藤原　虎之助

本年は激動と不況の年になりそうです。村民一同力を合わせて「無から有を生ずる」気構えで力強く前進しましょう。昨年は中学校の完成、ことしは水道も待望の給水実現の見おしがつきもう一歩です。不況のもと村財政の苦しい立場から、住民の日常生活に直結した公共事業の予算措置を重点目標に、適正な税の活用に全力投球したい。正直者が馬鹿をみないような減反のあり方、中学校生徒の通学の再検討や、山村開発センター、大型圃場整備、農道改良など、もろもろの公共事業は山積しており、いずれも彼岸に達するには時間を要しようが、村民みんなの声を土台に、早期実現のため努力したい。よろしくお願いします。

泥田の中で考える

遠藤　正男

ことしは沖縄が返ってくるごく当然の話なのだろうか

敗戦の代償が二十六年間という長い歳月を要したことになる。

戦地、内地の別なく、父、兄、子どもなど肉親を失ったあの戦争を、国民のどれだけの人が望んだのであったろうか。時の政治の弊害を強く感じる。日本は、経済力世界二位とか景気のよさそうな話。農村であるわが村は、国の二年続きの減反と冷害。ベトナム戦争はかで大金使ったアメリカのドル防衛という、自国だけのご都合主義に影響され不景気のドン底にあえいでいる。ここにも政治の弊害を感じる。春には種をまき…黙々と働く百姓の根性で、生き抜く道をさがさねばならない。

雪まじりの泥田の中で、これも生き抜くために、基盤整備に働きながら考えるともなく考える。

雪上自転車に注意

豪雪の季節をむかえます。路上に雪があるときは、ことに自転車、バイクはスリップしやすいので、自転車には乗らないよう、また家庭でも、自転車のおつかいはさせないように注意したいもの。自動車のスリップ事故も多い季節歩行者は、交差するときには余ゆうをもって、路肩に待避したいもの。車は、人かげをみとめたら、徐行して、あやまっても人身事故などおこさぬように注意しよう。

出かせぎの方にたばこを送ろう

本村一年間のたばこ消費税は五百五十余万円。そこでいま、出かせぎの方に、たばこを送ろうという運動を展開中容器は（ボール箱で六〇個と一〇〇個入り）専売公社で無料サービスに、各販売店あて配置してある。荷づくりは販売店でやってくれるので手数はかからない。小包料金は、役場から直ちにさしあげる。たばこ販売店に相談のほどを

商工会バレー大会

一月九日、商工会青年部が主催して、村内の事業所対抗バレー大会が、東由利中学校体育館で開かれる。これには会長杯、青年部長杯のほか、盛りだくさんの賞品、賞状が用意されている。ふるって参加のほどを。

効率ある農業生産ねらい資金制度が

効率のよい農業生産を行なおうとする農家のために、資金の融資制度がある。

この制度の特長は、多額の資金を長期、低利で（個人の限度額が八〇〇万円、二十五年償還、年五分の金利）借りられること。経営の改善に必要な資金（農業近代資金、運転資金）もまとめて借りられること。借入れにともない農業改良普及所などの専門家に直接指導を受けられること。など今までの資金にない特長があり、自立経営をめざし規模を大きくしようとする農家にとっては、好都合な制度である。

この資金の対象となる農家は、今後、自立経営農家として伸びようとする意欲と、技術をもち、資金借入による規模拡大後の農業所得が、おおむね一八〇万円以上となる農家であること。なお、この資金の対象となる事業は、稲作・果樹・施設園芸・酪農・肉用牛・養豚・養鶏に必要な施設、機械、家畜などの建設導入である。

借入手続が簡単なことも、この制度の特長である。借入希望者は、借入申込書を役場・農業委員会・農協・農業共済組合に提出することとなるが、その記入方法、経営改善計画のたて方は、前記の各機関が積極的に指導することとなっている。

来春、この資金を活用したい方は、四十七年二月末日がしめ切り日となっているので早目に、前記の機関へ申出るように。

なお、くわしいことは役場経済課、農業委員会、農協、農業共済組合、農業改良普及所へ相談のほどを。

消防の出初め式

恒例の本村消防団出初め式は、正月六日、新装なった東由利中学校体育館を会場に、盛大に行なわれる。